



—東地中海地域ニュース—

イスラエル：中東和平（ハマスに拘束されている IDF 兵士釈放交渉）（3月18日付現地報道）

18日付イスラエル各紙は、ハマスに拘束されているイスラエル軍（以下 IDF）兵士釈放に向けた交渉が合意に至らなかったことに関し、17日に特別閣議が開催され、オルメルト首相がコメントを発表したと報じている。概要は以下の通り。

1. 17日、オルメルト首相は、ハマスに拘束されているシャリート IDF 兵士の釈放に関するハマスとの間接交渉が合意に至らなかったことを受けて会見し、シャリート兵士釈放に向けた交渉は継続するものの、イスラエルの治安を脅かす可能性の高い囚人の釈放には応じられないと述べた。
2. 17日午後開催された特別閣議において、オフエル・デケル拉致兵士担当特使は、シャリート兵士釈放の代償として、イスラエル人を殺害した者を含めた325名の囚人釈放をハマスに提示した事を明らかにした。その内144名に関しては、帰宅は認めずガザ又は国外への追放をイスラエルは要求したとも付け加えた。またデケル特使に同行したディスクン GSS 長官は、ハマスは同組織の軍事部門の指導層に含まれる100名の釈放を要求し、この要求の妥協をしなかったと報告した。
3. IDF 高官は、シャリート IDF 兵士釈放のためにはあらゆる代償を支払う用意があることを公言した閣僚を強く非難した。また、オルメルト首相は、シャリート兵士の両親に対して、釈放を政府に求める社会運動は、（釈放に向けた交渉の障害となっており）かえってシャリート兵士を傷つけていると述べた。
4. オルメルト首相は交渉継続を約束したが、閣議では服役中のハマスの囚人に対する面会禁止措置など、ハマスに対する圧力の別の手段を検討する閣僚委員会（フリードマン法相を委員長）の設置を決めた。

【補足情報】

- 2009-02-08 オルメルト首相、リブニ外相、バラク国防相は、閣議の前にガザで拘束された兵士シャリートについて協議。オルメルト首相は、閣議で、閣僚たちにより同問題に関する発言を注意した。オルメルト首相は、言うことがある時は自分が言うと言った。
- 2009-02-09 ハアレッツ紙は、ハマスは数日前に、ガザの境界通行所の再開問題と拘束している兵士シャリートの解放問題とリンクすることに同意したと報道。
- 2009-02-19 オルメルト首相は、ガザで拘束されている兵士との交換で釈放する囚人名簿を渡したことを確認。
- 2009-02-19 オルメルト首相は、停戦と兵士解放問題がリンクしていることについて、彼らを粉砕したのはイスラエルであり、ハマスが彼らの提示した条件をイスラエルが受けると考

えているのであれば、間違いであると述べた。

- 2009-03-08 イスラエルのデケル特使は、エジプトを訪問、ガザで拘束されてるシャリットの解放について、エジプトのスレイマーン諜報長官らと協議した。同特使は9日もカイロに滞在。10日のイスラエル側報道では、イスラエルが交換解放するパレスチナ人囚人の名簿について協議している。
- 2009-03-12 イスラエルのデケル特使は、エジプトを訪問中で、シャリット開放について協議した。デケル特使は、カイロに3日間滞在中。その後の報道ではデケル特使は12日夜にイスラエルに帰国。イディオト・アハロト紙系サイトは、デケルの帰国は、交渉に進展がなかったことを示唆するかと報道。
- 2009-03-14 イスラエルのオルメルト首相は、ディスキン・シンベド長官とデケル特使をエジプトに派遣した。2人は15日までエジプト側と協議を行う予定とされた。
- 2009-03-15 ドバイのアル・バヤン紙は、エジプトが、在外ハマス指導者メシャルとイスラム聖戦事務総長シャラーフをカイロに呼んだと報道。同2人は、パレスチナでの政治対話での文書の表現のつめを行うとされた。またガザに拘束されているイスラエル軍兵士とパレスチナ人囚人の交換解放についても協議されると報道された。
- 2009-03-16 イスラエルのオルメルト首相は、零時すぎ、16日に予定していたガザで拘束されている兵士シャリットについて協議する特別閣議の開催を24時間延期した。
- 2009-03-16 イスラエルは、カイロでのイスラエル軍兵士とパレスチナ人囚人の交換解放交渉について、ハマスが要求を高めたため合意に至らずと発表した。イスラエル側の特使2人は、同日夕方イスラエルに帰国し、オルメルト首相に結果を報告している。ハマス側は、イスラエル側を非難。
- 2009-03-16 イディオト・アハロト紙系電子メディアは、ハヤート紙の報道として、ガザでイスラエル軍兵士を拘束している軍事部門のアフマド・ジャバルが、3日前からエジプトを訪問して、交渉に参加していると報道。ハマス側は、450人の名簿全員の解放を要求しているが、イスラエル側は450人中300人の釈放と老齢の囚人の釈放を提案している。イスラエル側は、一部囚人の国外追放を主張しているがハマスは拒否。ただハマスは、一部囚人が西岸ではなくガザで開放されることは認めたとされる。ハマス側は、交渉は1年でも待てるとしているとされた。
- 2009-03-17 イスラエルのオルメルト首相は、国民向けのテレビ声明で、3年間ガザ拘束されている兵士シャリットの解放に向けた交渉が不調に終わったと発表。オルメルト首相は、イスラエル側には超えてはならない一線があるとした。
- 2009-03-17 イスラエル政府筋は、ガザで拘束されたイスラエル軍兵士の解放交渉が難航したことで、ガザに対する経済封鎖の解除の可能性も遠のいたと述べた。
- 2009-03-18 ハマスとイスラム聖戦の囚人の待遇を検討する閣僚委員会が開催された。兵士解放の圧力のために収監条件を悪くすることを検討する。面会制限、現金制限などを検討中。イスラエルの人権団体は、こうした動きを非難。
- 2009-03-19 イスラエル軍は、西岸でハマス幹部12人を拘束した。

---

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799